

第 20 回 ITS シンポジウム 2022

テーマ: 社会で機能する ITS
 ～次世代モビリティサービスの社会実装のために～

2022 年 12 月 8 日(木)～9 日(金)

柏の葉カンファレンスセンター (三井ガーデンホテル柏の葉 2 階)

https://www.its-jp.org/katsudou/its_symposium/20th2022/

12 月 8 日(木)

9:30 開場

10:00-10:10 開会式 挨拶

メインホール

太田 和美 柏市長
 藤井 輝夫 東京大学 総長
 佐々木 眞一 特定非営利活動法人 ITS Japan 会長
 須田 義大 東京大学 生産技術研究所 教授 / モビリティ・イノベーション連携研究機構 機構長

10:10-10:15 はじめに

メインホール

プログラム委員長 中野 公彦 東京大学 生産技術研究所 教授

10:15-11:00 基調講演

メインホール

村瀬 茂高 WILLER 株式会社 代表取締役

日本における自動運転サービスの実装に向けて
 WILLER グループが現在取り組んでいる日本における自動運転サービスの実装について、具体的な事例を用いて紹介する。これまで高速バスや鉄道において顧客インサイトに基づいた新しい移動サービスを形にし、提供してきた。自動運転およびオンデマンド交通を含む MaaS 分野全般においても、同様の考え方で取り組んでおり、合わせてご紹介したい。また、海外における取り組みとの比較において、日本での課題についてもお話しする予定である。

11:00-11:20 休憩

11:20-13:00 対話セッション 1-A インフラ連携・協調型システム

11:20-12:20 ショートプレゼン

12:25-13:00 ポスター発表

メインホール

対話セッション A 会場

* 付き論文: International Journal of ITS Research のシンポジウム連動論文として投稿されています。

モデレータ: 大前 学 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授
 川原 禎弘 株式会社ジェイテクト 研究開発本部 研究企画部 産官学連携グループ 主査

1-A-01* SIP 第 2 期東京臨海部実証実験の報告 -V2N を用いたインフラ協調型自動運転実験結果 -
 ○高橋由華子, 津田喜秋, 金子幸司(三菱電機), 十河孝介(三菱総合研究所),

村木由利香(MRI リサーチアソシエイツ)

- 1-A-02* 電気自動車の走行中ワイヤレス給電コイルの新しい検証法
黄紹權(睿能創意公司), ○胡家勝(台湾国立台南大学)
- 1-A-03 高速道における本線合流支援システムのシミュレーション評価と考察
○樫原拓美, 安達佳明, 五十嵐雄治, 津田喜秋(三菱電機)
- 1-A-04 合流支援情報提供システム(DAY2 システム)の効果検証
○中川敏正, 井坪慎二, 関谷浩孝, 石原雅晃, 湯浅克彦, 花守輝明(国土技術政策総合研究所),
中田諒(阪神高速道路), 藤村亮太(愛知製鋼)
- 1-A-05 自動運転車への対向車接近情報提供のための路車協調技術の基礎的検証
○石原雅晃, 湯浅克彦, 中川敏正, 井坪慎二(国土技術政策総合研究所), 中田諒(阪神高速道路),
藤村亮太(愛知製鋼)
- 1-A-06 インフラ協調型運転支援システムの実現に向けた取組
○濱田悠司, 大田優子, 五十嵐雄治, 竹原崇成(三菱電機)
- 1-A-07 交差点左折時の4 アンテナ UHF 帯 RFID システムを用いた車両誘導
○弘内颯太郎, 島越冠多, Gabriela Maria Castro Gonzalez, 川村武(北見工業大学)
- 1-A-08 UHF帯 RFID システムを用いた交差点後進左折誘導
○島越冠多, 弘内颯太郎, Gabriela Maria Castro Gonzalez, 川村武(北見工業大学)
- 1-A-09 協調型 ITS における地理的情報に配慮したデータ配信システム
○石原匠(慶應義塾大学), 佐藤雅明(東海大学/慶應義塾大学), 植原啓介(慶應義塾大学)
- 1-A-10 SDN を利用した QoS 予測・予約による V2X 通信の信頼性向上
○国本典晟, 藤睿, 佐藤健哉(同志社大学)
- 1-A-11 磁気マーカによる自己位置推定手法と非接触給電システムが双方に及ぼす影響の調査
○石井響弥, 霜野慧亮, 須田義大, 清水修, 藤本博志(東京大学),
安藤孝幸, 棕本博学, 長尾知彦(愛知製鋼)

11:20-13:00 対話セッション 1-B 人間工学・HMI

11:20-12:20 ショートプレゼン

メインホール

12:25-13:00 ポスター発表

対話セッション B 会場

* 付き論文: International Journal of ITS Research のシンポジウム連動論文として投稿されています。

モデレータ: 小竹 元基 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 准教授
平岡 敏洋 一般財団法人日本自動車研究所 新モビリティ研究部 新モビリティグループ 主席研究員

- 1-B-01 駐車時のドライバーの行動変容に寄与する表示内容の検証
○大島創, 滝沢正仁(拓殖大学), 山本浩司(中日本高速道路)
- 1-B-02 心拍リアルタイム計測による自動運転環境下における感覚刺激と磁気刺激を組み合わせた新たな居眠り運転防止手法の評価検討
○紫村和里, 須賀尚喜, 中野倫明, 山田宗男(名城大学), 毛利佳年雄(名古屋産業技術研究所)
- 1-B-03 自動車の自転車追越し時における走行特性と自転車のリスク知覚
○恩田泰山, 松本修一, 上田正史, 櫻井淳(文教大学), 山中英生(徳島大学)
- 1-B-04 信号停車中の自動運転車からの譲り意図提示 eHMI
○佐伯英日路, 志堂寺和則(九州大学)
- 1-B-05 V2X 通信におけるプライバシー向上のための仮想車両を用いた協調的仮名交換方式の提案
○杉本涼輔, 藤睿, 佐藤健哉(同志社大学)
- 1-B-06 生理的特徴を用いた遠隔操縦者の運転特性に関する研究
○石川晃太郎, 杉町敏之, 櫻井俊彰, 榎徹雄(東京都市大学), 郭鐘聲, 須田義大(東京大学)
- 1-B-07 混在交通下における安全かつスムーズな意思疎通を促進する HMI の設計
○宮尾宙希, 春日伸予(芝浦工業大学)

- 1-B-08 心拍解析による自動運転環境下における権限移譲時のドライバ状態の評価 -運転以外のタスクが与える影響-
○漆衛, 中野倫明, 山田宗男 (名城大学)
- 1-B-09 (キャンセル)
- 1-B-10 信号通過支援によるドライバー行動変容と周囲交通への影響に関する基礎的研究
○山口諒, 大門樹(慶應義塾大学), 岩岡浩一郎, 朝田将(パナソニックコネク), 織田利彦(応用数理研究所)

13:00-14:00 昼食

14:00-15:40 対話セッション 2-A 自動運転・運転支援

14:00-15:00 ショートプレゼン

メインホール

15:05-15:40 ポスター発表

対話セッション A 会場

* 付き論文: International Journal of ITS Research のシンポジウム連動論文として投稿されています。

モデレータ: 佐藤 健哉 同志社大学大学院 理工学研究科情報工学専攻 教授
安藤 孝幸 愛知製鋼株式会社 未来創生開発部 GMPS 開発グループ チーム長

- 2-A-01 ターゲットライン方式自動運転システムの開発
○古川修, 萩原一郎, 井上全人, 間下博, 加世山秀樹(明治大学)
- 2-A-02 歩行者や自転車の移動予測に基づく安全な協調型自動運転
○中田勇登, 深尾隆則(東京大学)
- 2-A-03 仮想空間における歩行者行動の計測に基づく自動運転車に対する信頼度推定
○増田椋太(東京大学), 小野晋太郎(福岡大学/東京大学), 平岡敏洋, 須田義大(東京大学)
- 2-A-04 車線維持のための信頼に基づくデータ駆動型シェアードコントロール
○万岱虹, 王正, 中野公彦(東京大学)
- 2-A-05 (キャンセル)
- 2-A-06 運行設計領域に基づくMRMにおける停止手法の決定戦略
○吉野純司, 平岡敏洋, 霜野慧亮, 梅田学, 須田義大(東京大学)
- 2-A-07 地図ベースの自動運転シャトルバスの衝突防止のための操舵角制限制御に関する研究
○西村駿, 大前学(慶應義塾大学)
- 2-A-08 単眼カメラの動的SLAMを用いた運転環境の可視化
○張ハンウェイ(九州大学), 内山英昭(奈良先端技術大学院大学), 小野晋太郎(福岡大学/東京大学), 川崎洋(九州大学)
- 2-A-09 自動運転車両の踏切通過に関する研究
○福島虹郎, 中野公彦, 楊波, 王正, 梅旭濤(東京大学), 高田哲也, 長澤弘之(京三製作所)
- 2-A-10 柏の葉地区を実例とした自動運転バスの走行状態の分析と可視化
○霜野慧亮, 中野公彦, 鈴木彰一, 梅田学, 岩崎克康, 須田義大(東京大学)

14:00-15:40 対話セッション 2-B 認識・センシング

14:00-15:00 ショートプレゼン

メインホール

15:05-15:40 ポスター発表

対話セッション B 会場

* 付き論文: International Journal of ITS Research のシンポジウム連動論文として投稿されています。

モデレータ: 河中 治樹 愛知県立大学 情報科学研究科 准教授
河合 克哉 三菱電機株式会社 先端技術総合研究所 ソリューション技術部 主席研究員

- 2-B-01* 飛雪粒子の残像による吹雪画像の視認距離
○櫻井俊光, 武知洋太, 國分徹哉, 松澤勝(土木研究所寒地土木研究所)
- 2-B-02 歩行者等交通量観測へのAIによる画像認識技術の活用に関する研究
○難波秀太郎, 尾崎悠太, 瀧本真理, 松本幸司(国土技術政策総合研究所)

- 2-B-03 高所俯瞰映像を用いた単一車両の走行速度推定
○味田昌樹, 佐治斉(静岡大学)
- 2-B-04 高解像度ミリ波レーダによる駐車シーンの復元
○秋田時彦(豊田工業大学), 赤峰悠介, 近藤勝彦(SOKEN)
- 2-B-05 区画線の剥離状況と車載カメラによる区画線検知状況との関係分析
○花守輝明, 石原雅晃, 中川敏正, 井坪慎二(国土技術政策総合研究所), 中田諒(阪神高速道路), 藤村亮太(愛知製鋼)
- 2-B-06 上空映像を用いた高速道路上の走行車両の抽出
○上紗久羅(静岡大学), 佐治斉(静岡大学)
- 2-B-07 先進的な画像処理技術を用いた車種判別システムの研究
○齋藤剛(高速道路トールテクノロジー)
- 2-B-08 「ながらスマホ」判別精度向上検討および実フィールドにおける検証
○河口剛輝, 中野倫明, 山田宗男(名城大学)
- 2-B-09 深度推定により算出した車間距離を用いた急ブレーキ検出
○張ハンウェイ, 野口遥平(九州大学), 小野晋太郎(福岡大学/東京大学), 川崎洋(九州大学)
- 2-B-10 自動運転を想定した車載カメラ画像によるカーブミラーの検出時における装飾の効果に関する調査
○寺口敏生, 関谷浩孝, 酒井与志亜, 井坪慎二(国土技術政策総合研究所)
- 2-B-11 ドライブレコーダ画像を用いた簡便な使用車線の推定手法
○井料隆雅(東北大学)

15:40-16:00 休憩

16:00-17:30 企画セッション 1

メインホール

レベル 4 自動運転の社会実装に向けて

自動運転・CASE・MaaS に代表される新しいモビリティは、車社会を一変させるものであり、100年に一度のモビリティ革命と言われている。経済産業省では、国土交通省と連携し、自動運転レベル4等の先進モビリティサービスの実現や普及に向けて、新たなプロジェクト「自動運転レベル4等先進モビリティサービス研究開発・社会実装プロジェクト(RoAD to the L4)」を立ち上げている。このような先進モビリティサービスの実現や普及に向けては、自動車技術の革新だけでなく、人々の生活にどのように入り込んでいくか、社会受容性についての検討も重要になってくる。本セッションでは、レベル4自動運転の研究開発や実証実験等の事例を通じ、その社会実装における課題について議論する。

- | | | |
|--------|-------|--|
| モデレータ: | 清水 和夫 | モータージャーナリスト 兼 SIP 構成員 |
| パネリスト: | 多田 善隆 | 国土交通省 自動車局 自動運転戦略室長 |
| | 加藤 真平 | 東京大学大学院 情報理工学系研究科 准教授 |
| | 渡部 大志 | 埼玉工業大学 工学部情報システム学科 教授 |
| | 加藤 晋 | 産業技術総合研究所 情報・人間工学領域 デジタルアーキテクチャ研究センター 首席研究員 |

12月9日(金)

9:00 開場

9:30-11:00 企画セッション 2
スマートシティと ITS

メインホール

Soccity5.0 の実現に向けて、様々なスマートシティの取り組みが広がっている。「スマートシティ官民連携プラットフォーム」によると、現在全国で 200 以上のプロジェクトが進行しており、そのうち 8 割以上で「交通・モビリティ」が課題として掲げられている。移動はスマートシティを考える上で欠かせない要素であり、そこに ITS が果たす役割は大きい。本セッションでは、現在活発な取り組みを行っている特徴的なスマートシティのプロジェクト関係者を招き、それら以外も含めた様々なタイプのスマートシティの展望と、そこで ITS を活用する可能性について論じる。

モデレータ: 中村 文彦 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 特任教授

パネリスト: 坂齊 豊 柏市 土木部 交通政策課 課長
佐治 友基 BOLDLY 株式会社 代表取締役社長 兼 CEO
日高 洋祐 株式会社 MaaS Tech Japan 代表取締役
国立 昇平 加賀市 政策戦略部スマートシティ課 主査

11:00-11:20- 休憩

11:20-13:00 対話セッション 3-A 交通安全・社会インパクト

11:20-12:20 ショートプレゼン

メインホール

12:25-13:00 ポスター発表

対話セッション A 会場

* 付き論文: International Journal of ITS Research のシンポジウム連動論文として投稿されています。

モデレータ: 谷口綾子 筑波大学大学院 理工情報生命学術院 システム情報工学研究群 教授
萩田賢司 科学警察研究所 交通科学部 交通科学第一研究室 室長

- 3-A-01 自動運転車が閉鎖空間を走行した時の横ブレ幅についての検証
○湯浅克彦, 石原雅晃, 中川敏正, 井坪慎二(国土技術政策総合研究所), 中田諒(阪神高速道路), 藤村亮太(愛知製鋼)
- 3-A-02* 交通事故加害者の非金銭的損失
○三好博昭, 田口聡志, 山本達司, 渡辺昭次(同志社大学)
- 3-A-03 大規模イベント時の道路交通情報提供のあり方
○古頭佑也, 清水英聖, 國信優実帆(日本道路交通情報センター)
- 3-A-04 機械学習を用いた路面損傷検出モデルの構築及び及び精度向上
○藤井友哉, 神亀理恵, 堀田裕弘(富山大学)
- 3-A-05 自動運転サービスの受容性向上に向けた取組に関する研究
○鈴木彰一, 長谷川悠(東京大学), 佐藤健哉, 三好博昭(同志社大学), 大口敬(東京大学)
- 3-A-06 安全運転管理教育システム ASSIST におけるエッジ AI デバイスを用いた出会い頭事故防止教育用車載装置の開発
安藤愛斗, ○合志和晃, 林政喜, 隅田康明(九州産業大学), 松永勝也(九州大学)
- 3-A-07 福岡市の交通事故が増えた交差点の発生要因分析
○プラサド ロヒット シヴ, 廣田正樹(九州大学)
- 3-A-08 速度外部表示装置の効果検証とソフトモビリティ研究・実践の展望
○小栗幸夫, 吉川泰生, 関水信和(千葉商科大学), 岩倉洋平(香川短期大学)
- 3-A-09 シークエンスデザイン ODS による連続カーブ区間における速度整流・制御効果の検証
-国道 18 号碓氷バイパスでの大型車事故対策-
○韓亜由美, 荻原林太郎(STUDIO HAN DESIGN)
- 3-A-10 MaaS 社会実装に向けたカギは何か? ~ケーススタディから見える事業課題と可能性~
○横溝英明, 霜野慧亮, 郭鐘聲, 須田義大(東京大学)

- 3-A-11 交差点における特殊車両の折進条件の自動判定アルゴリズム
○志野有, 塩見康博(立命館大学)

11:20-13:00 対話セッション 3-B 交通計画・経路設計

11:20-12:20 ショートプレゼン

メインホール

12:25-13:00 ポスター発表

対話セッション B 会場

* 付き論文: International Journal of ITS Research のシンポジウム連動論文として投稿されています。

モデレーター: 倉内文孝 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 工学部社会基盤工学科 教授
岡 英紀 一般財団法人計量計画研究所 研究本部 データサイエンス室 室長代理

- 3-B-01 * 交通状態の時空間特性を考慮したデータ駆動型追従挙動モデルの比較分析
○木下将大, 塩見康博(立命館大学)
- 3-B-02 * (キャンセル)
- 3-B-03 * 経路固定交通機関と共有型自動運転を統合した公共交通システムの計画問題: 動的交通量配分と多目的最適化に基づくモデル
○丸山稜太, 瀬尾亨(東京工業大学)
- 3-B-04 * メソ交通流シミュレーションモデルと動的配車システムを連携させたシミュレータによる都市部へのライドシェアタクシーサービス導入の評価
○森俊勝(ゴダイベスト), 溝上章志(熊本学園大学), 金森亮(名古屋大学), 劉強(熊本市都市政策研究所)
- 3-B-05 (キャンセル)
- 3-B-06 自動バレー駐車のための時空間グリッド予約を利用した車両移動モデルのダイナミックマップ上における実装
○山本浩太郎, 藤睿, 佐藤健哉(同志社大学)
- 3-B-07 トンネル入り口情報板を活用した渋滞末尾での追突事故対策
○山本浩司, 折野好倫(中日本高速道路)
- 3-B-08 ETC2.0 プローブ情報収集範囲の拡大に向けた調査研究
○半田悟, 佐々木浩一, 山口章平, 渡辺直明, 菅谷勇, 喜納正陽(道路新産業開発機構)
- 3-B-09 路線バスプローブデータ解析による地域内複数路線の遅延状況の関係分析
○川谷卓哉, 峯恒憲(九州大学)
- 3-B-10 動的交通量配分における確率的経路選択モデルの比較
○石原雅晃, 井料隆雅(東北大学)
- 3-B-11 Graphillion による高速道路料金計算
○飯島宏吉(高速道路トールテクノロジー)

13:00-14:00 昼食

14:00-15:40 対話セッション 4-A 地域交通

14:00-15:00 ショートプレゼン

メインホール

15:05-15:40 ポスター発表

対話セッション A 会場

* 付き論文: International Journal of ITS Research のシンポジウム連動論文として投稿されています。

モデレーター: 有吉 亮 横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 特任准教授
桑原昌広 トヨタ自動車株式会社 コネクティッド先行開発部 シニア・リサーチャー

- 4-A-01 * 須恵町コミュニティバスにおける二酸化炭素濃度の予備分析
○内林俊洋(九州大学), 末吉智奈佐, 高木秀也, 安武芳紘, 稲永健太郎(九州産業大学)
- 4-A-02 地域全体のアクティビティを再現するナウキャストモデルの構築
○花房比佐友, 小宮粹史, 一瀬恭平, 堀口良太(アイ・トランスポート・ラボ)
- 4-A-03 富山駅自転車駐車場における混雑度推定モデルの構築
○原田隼輔, 堀田裕弘(富山大学)

- 4-A-04 北見市内における GTFS バスロケーションシステムの全路線展開
○古田凌将, 安瀬諒志, 中村篤弘, 升井洋志(北見工業大学)
- 4-A-05 過疎地域におけるモビリティハブのニーズ把握
○佐藤和貴子(AMANE), 正林泰誠, 岡部明子(東京大学)
- 4-A-06 観光着地域内交通が地域の生活の質向上につながる可能性 –偶発的な交流の効果に着目して
○日比野遼一(東京大学), 矢野裕一郎(東日本旅客鉄道), 竜崎広幸(ジェイアールバス関東), 岡部明子, 小竹元基(東京大学)
- 4-A-07 栃木県における無人自動運転移動サービス導入に向けた取り組み ～栃木県 ABC プロジェクト～
○大皿陽康, 田中敦士, 安池健, 西井成志, 津田溪太郎, 中村謙太, 田中杏奈(日本工営), 坂井康一, 亀山泰剛, 安生真人(栃木県)
- 4-A-08 半島端発のモビリティ MIX
○岩原卓美(東日本旅客鉄道), 大賀智洋(館山市役所), 加藤祥悟(ジェイアールバス関東), 堀越健太(大東文化大学), 吉野孝士(勝浦市観光協会), 岡部明子(東京大学)
- 4-A-09 長崎市の路面電車における ITS のエネルギーインフラ機能
○森田均(長崎県立大学), 松坂勲, 山口泰生(長崎電気軌道), 吉田博文(長崎市)
- 4-A-10 原付 EV ミニカーを用いた地方都市活性化と地域住民コミュニケーション増進の試み
○久保登, 岡部明子, 小竹元基, 須田義大(東京大学)
- 4-A-11 自動運転サービスにおける車両位置情報の共有とプライバシー保護
○渡辺陽介, 山田峻也, 川田福和, 草山真一(名古屋大学), 佐藤健哉(同志社大学), 高田広章(名古屋大学)

14:00-15:40 対話セッション 4-B 測位・空間情報

14:00-15:00 ショートプレゼン

メインホール

15:05-15:40 ポスター発表

対話セッション B 会場

* 付き論文: International Journal of ITS Research のシンポジウム連動論文として投稿されています。

モデレーター: Ehsan Javanmardi 東京大学大学院 情報理工学系研究科 Project Assistant Professor
中條 覚 株式会社三菱総合研究所 ポリシー・コンサルティング部門 副統括室長

- 4-B-01 * 3D マップと機械学習を利用した道路上での RTK 測位可用性の予測
○小林海斗, 久保信明(東京海洋大学)
- 4-B-02 GNSS 位置検知に基づく列車接近情報を用いた第 4 種踏切通行支援
○高田哲也, 長澤弘之, 荻野誠之(京三製作所)
- 4-B-03 * 移動体観測と固定点観測を併用した交通密度の空間補間手法の検討
○片山広樹, 安田昌平, 布施孝志(東京大学)
- 4-B-04 屋内時空間データ管理システムの開発と移動ロボットへの適用
○丹下智之, ドミンゲス エルネスト, 五十嵐雄治(三菱電機)
- 4-B-05 LiDAR センサによる位置検知手法の検討
○山口大助, 長谷川智紀, 八木誠(交通安全環境研究所), 植田慎, 柴田修, 前野公弘(広島電鉄)
- 4-B-06 * アンケートから見えたバスロケーションシステムの導入・運用に関する課題とデータ活用による課題解決事例
○中村嘉明(構造計画研究所), 溝上章志(熊本学園大学)
- 4-B-07 プローブ車両データを用いた豪雨災害時の複数都市における交通異常の解析
○平田健介, 川崎洋輔, 堀井佑真, 村松悠(日本大学), 大武博史, 高坂晴伎(国土交通省東北地方整備局)
- 4-B-08 (キャンセル)
- 4-B-09 ドローン編隊飛行における GNSS 偽装データの検知
○佐藤俊雄, 齊欣, 文鄭(早稲田大学), 竹内健(ジャパンデータコム), 勝山裕, 爲末和彦, 佐古和恵, 甲藤二郎, 佐藤拓朗(早稲田大学)
- 4-B-10 ETC2.0 データの収集状況に関する調査
○大住雄貴, 酒井与志亜, 寺口敏生, 井坪慎二(国土技術政策総合研究所)
- 4-B-11 (キャンセル)

15:40-16:00 休憩

16:00-17:30 企画セッション 3

メインホール

都市および地域における持続可能なモビリティサービスとは？

我が国では少子高齢化が先進国に先駆けて進展している。加えて、COVID-19 の影響により、人流は抑制され、交通事業者を取り巻く環境は厳しいものとなり、CASE、MaaS の進展により大変革期が到来する中でモビリティを取り巻く環境は不可測な状況にある。地域、都市では、既存のモビリティを考慮・融合したモビリティおよびそのサービス展開が期待され、多くの実証実験が進められており、社会実装事例も生まれ始めている。持続可能な社会とするためには、事業性は避けては通れないことも言及されている中で、本セッションでは地域、都市での取り組みを持続可能とするための取り組みについて、話題提供を通じて考えることとしたい。

- モデレータ： 吉田 樹 福島大学 教育研究院 准教授(経済経営学類担当)
うつくしまふくしま未来支援センター地域復興支援部門 部門長
- パネリスト： 松本 順 株式会社みちのりホールディングス 代表取締役グループ CEO
岡田 良之 順風路株式会社 代表取締役社長
日下部 貴彦 阪急阪神ホールディングス株式会社
グループ開発室 DX プロジェクト推進部 データアナリシスディレクター

17:30-18:00 閉会式

- ・ プログラム委員長総評 中野 公彦 東京大学 生産技術研究所 教授
- ・ ベストポスター賞授与
- ・ 次期プログラム委員長挨拶 堀田 裕弘 富山大学 学術研究部都市デザイン学系 教授

第 20 回 ITS シンポジウム 2022

- 主催： 特定非営利活動法人 ITS Japan
共催： 東京大学生産技術研究所 / 東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構
- 協賛： 計測自動制御学会，交通工学研究会，自動車技術会，情報処理学会，人工知能学会，電気学会，電子情報通信学会，土木学会，日本機械学会，日本交通心理学会，日本ロボット学会，自動車技術会モビリティ社会部門委員会，情報処理学会高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)研究会，情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会，電気学会 ITS 技術委員会，電子情報通信学会 ITS 研究会
- 実行委員長 須田義大(東京大学生産技術研究所 教授 / 東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構 機構長)
- プログラム委員長： 中野公彦(東京大学生産技術研究所 教授)
- プログラム委員会： 安藝雅彦(日本大)，安藤孝幸(愛知製鋼)，伊藤太久磨(東京大)，岩岡浩一郎(パナソニック コネクト)，荻内康雄(住友電工)，小野晋太郎(福岡大)，川崎洋輔(日本大)，杉町敏之(東京都市大)，瀬尾亨(東京工業大)，田中伸治(横浜国立大)，塚田学(東京大)，外山友里絵(三菱総研)，中村俊之(名古屋大)，森博子(愛知淑徳大)，柳沼秀樹(東京理科大)，和田健太郎(筑波大)
- 参加登録料 論文発表者 一般 15,000 円 / 学生 8,000 円 (いずれも論文投稿料を含みます)
聴講 一般会員 15,000 円 / 一般非会員 20,000 円 / 学生 3,000 円……11 月 30 日まで
一般会員 18,000 円 / 一般非会員 23,000 円 / 学生 3,000 円……12 月 1 日より



特定非営利活動法人 ITS Japan

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館ビル TEL 03-5777-1011 / FAX 03-3434-1755